

令和7年3月5日
金融庁
日本銀行

令和6年度金融知識普及功績者表彰について

本日、金融庁と日本銀行では、「令和6年度金融知識普及功績者」として、個人の部13名、団体の部2団体を表彰することとしました。

金融知識普及功績者表彰は、金融及びその背景となる経済についての教育活動をより一層推進するため、国民の金融に係る知識の普及・向上に功績のあった者及び団体に対して、その功績を顕彰するものです。

表彰の対象となる者及び団体には、金融担当大臣及び日本銀行総裁の連名による表彰状等を授与します。表彰状の伝達は、後日、全国の都道府県において行います。

お問い合わせ先

金融庁 TEL 03-3506-6000 (代表)
総合政策局総合政策課金融経済教育推進室

日本銀行 TEL : 03-3279-1111 (代表)
情報サービス局
(内線 4710)

令和6年度金融知識普及功績者一覧

〔個人の部〕

(敬称略)

1. くまがいちえこ
熊谷千重子
(宮城県)
 - 金融広報アドバイザーとして、時代のニーズをとらえ、旺盛な学習意欲を持ちながら消費生活相談員としての経験や知識を生かし、金融知識の普及・向上に貢献。

2. しみず ちくさ
清水 千草
(山梨県)
 - 金融広報アドバイザーとして、最新の情報に基づき、ライフイベント表やワークシート、クイズ等を取り入れた対象者に応じたわかりやすい資料・講演で、受講者から高い評価を得る等、こどもから高齢者まで地域の金融知識の普及・向上に貢献。

3. はぶ けいこ
土生 恵子
(東京都)
 - 金融広報アドバイザーとして、小学生における複数のクラスでの授業にも積極的に対応し、好評を得て、複数年に亘る依頼を受けていることもあり、金融知識の普及・向上に貢献。

4. よこやま じゅんこ
横山 純子
(富山県)
 - 金融広報アドバイザーとして、講演の他、ラジオ番組への出演、地元新聞の寄稿も積極的に対応しており、幅広い層に対して金融知識の普及・向上に貢献。

5. おの
小野みゆき
(滋賀県)
 - 金融広報アドバイザーとして、日本FP協会滋賀支部支部長としても広く金融知識の普及に努め、親子向け金融教育セミナーの企画・開催をはじめ、幅広いテーマでの多数の対象者に向けた活動を続けており金融知識の普及・向上に貢献。

6. さとう かな
佐藤 香名
(岡山県)
 - 金融広報アドバイザーとして、「人生100年時代」の到来を見据えた家計管理や資産形成についての講演や、成年年齢引下げ、西日本豪雨の実体験に基づく「災害に役立つ支援制度や保険の知識」についての講演等、ニーズに合った講演を行っており、金融知識の普及・向上に貢献。

7. まつおか 松岡 くにやす 邦泰
(広島県)
- 金融広報アドバイザーとして、こどもの金銭教育、ライフプラン等をテーマとし、小中学生とその保護者を対象とした講座・セミナーを実施。また小学校教師を対象としたこどもへの金銭教育についての講座や特別支援学校の生徒を対象とした講座も実施し、金融知識の普及・向上に貢献。
8. いぎ 伊木 やすのり 恭憲
(鳥取県)
- 金融広報アドバイザーとして、講義に臨む姿勢や学校・自治体等講座の実施主体への働きかけは、他のアドバイザーの模範となり評価できるものであり、国民の金融知識の普及・向上に貢献。
9. すすき 薄 ちさと 千里
(福岡県)
- 金融広報アドバイザーとして、新聞・テレビの取材対応や県のWEB講座に登場して情報発信する活動や、大学生を対象にした独自のアンケート調査データを活用した資料や、子供向けの体験型講座等、工夫を凝らした講座・講義が人気で評判が高く、金融知識の普及・向上に貢献。
10. おおきちえみ 大木千絵美
(佐賀県)
- 金融広報アドバイザーとして、小学生から高齢者までの幅広い年代を対象に講演を行っている。過去3年において6市1町で46講座、受講者2,846人という実績は、金融知識の普及・向上に貢献。
11. かしむら 榎村ひとみ
(宮崎県)
- 金融広報アドバイザーとして、受講者に応じた講義内容を適切に構成するためのプランニングシートを独自に作成・整備するといった工夫に加え、そうした自己の取組の紹介等により県内の金融経済教育関係者の活動のサポートを通じて金融知識の普及・向上に貢献。
12. みしま 三島 としひで 俊英
(熊本県)
- 金融広報アドバイザーとして、高校生を対象とした講座では、講座終了後の学校教員に対する学習指導要領に沿った授業の取組方やアドバイスも含め参考になったと好評。参加者のニーズに合わせた資料選びと丁寧な説明も好評であり、金融知識の普及・向上に貢献。

13. おおき じろう
大木 治郎
(大分県)

- 金融広報アドバイザーとして、高齢者層への積極的な金融知識の普及に貢献していること、金融広報委員会の知名度向上に貢献していること、聴講者に寄り添ったテーマ設定や説明を行い、金融知識の普及・向上に貢献。

[団体の部]

1. いちざ
くらしの一座
(福井県)

- 平成 28 年度設立以降、現在に至るまで約 8 年間で計 47 回の公演（観客動員延べ 7,462 人）を実施するなど積極的に活動している。広く市内外の県民を中心にお金の大切さや悪質商法の手口、その対策を大衆演劇という手法を用いて啓発する活動を実施し、継続的に金融経済教育について取り組んでいる。
- 大衆演劇や計画的なお買い物に関するオリジナル動画 DVD の配布を通じて、こどもから高齢者まで幅広い年代に対して啓発を実施しており、平易かつ明確な内容で聴講者の興味・関心を高め、理解の深化に貢献しており、金融知識の普及・向上に貢献。

2. えひめけんりつ
愛媛県立
さいじょうこうとうがっこう
西条高等学校
(愛媛県)

- 令和 2 年度から 2 年間の金融教育研究校の指定を受け、金融教育の推進を図るための実践・研究に商業科で取り組んでおり、研究指定を終えても継続している。
- また金融教育研究指定校の委嘱を受ける前から、年金セミナー、租税教室、インターンシップ等、金融や経済の仕組みについての学習やキャリア教育に取組み金融リテラシーの醸成に向け多年にわたり積極的に活動しており、学校における金融知識の普及・向上に貢献。